

貸借対照表

e-Net 少額短期保険株式会社

平成21年度（平成22年3月31日現在）

（単位：千円）

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現金及び預貯金	327,905	保険契約準備金	86,142
現金	43	支払備金	1,907
預貯金	327,862	責任準備金	84,234
有価証券	—	代理店借	35,297
国債	—	再保険借	111,314
地方債	—	短期社債	—
その他の証券	—	社債	—
有形固定資産	4,909	新株予約権付社債	—
土地	—	その他負債	23,319
建物	—	借入金	—
リース資産	—	未払法人税等	562
建設仮勘定	—	未払金	5,713
その他の有形固定資産	4,909	未払費用	—
無形固定資産	25,318	前受収益	—
ソフトウェア	25,302	預り金	—
のれん	—	リース債務	—
リース資産	—	仮受金	17,044
その他の無形固定資産	16	その他の負債	—
代理店貸	2,500	退職給付引当金	—
再保険貸	8,749	役員退職慰労引当金	—
その他資産	227,809	価格変動準備金	—
未収金	115,777	繰延税金負債	—
未収保険料	73,868	負ののれん	—
前払費用	2,528	負債の部 合計	256,071
未収収益	—	(純資産の部)	
仮払金	24,943	資本金	207,000
貯蔵品	8,049	新株式申込証拠金	—
その他の資産	2,644	資本剰余金	177,000
繰延税金資産	—	資本準備金	177,000
供託金	15,000	その他資本剰余金	—
		利益剰余金	△27,881
		利益準備金	—
		その他利益剰余金	△27,881
		繰越利益剰余金	△27,881
		自己株式	—
		自己株式申込証拠金	—
		株主資本合計	356,119
		その他有価証券評価差額金	—
		繰延ヘッジ損益	—
		土地再評価差額金	—
		評価・換算差額等合計	—
		新株予約権	—
		純資産の部 合計	356,119
資産の部合計	612,190	負債及び純資産の部合計	612,190

I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準及び評価方法 最終仕入原価法による

2. 固定資産の減価償却の方法

不動産及び動産 定率法

無形固定資産 定額法

3. 当期末における支払備金および責任準備金の内訳は次のとおりです。

[支払備金]

支払備金（出再支払備金控除前）	3,910,325 円
同上にかかる出再支払備金	2,707,228 円
差引（イ）	1,203,097 円
IBNR支払備金（出再IBNR支払備金控除前）	2,347,539 円
同上にかかる出再IBNR支払備金	1,643,277 円
差引（ロ）	704,262 円
計（イ＋ロ）	1,907,359 円

[責任準備金]

普通責任準備金（出再責任準備金控除前）	251,141,472 円
同上にかかる出再責任準備金	175,793,986 円
差引（イ）	75,347,486 円
異常危険準備金（ロ）	8,886,942 円
計（イ＋ロ）	84,234,428 円

4. リース物件の所有権が借主の移転するもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。

5. 消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

6. 1株当たり純資産額は、2,439.17円です。

II. 貸借対照表に関する注記

1. 有形固定資産の減価償却累計額 6,595千円

2. 貸借対照表に計上した固定資産のほか、リース契約により使用している重要な固定資産として、ソフトウェアがあります。

3. 供託金 15,000,000円は保険業法に基づき命じられた供託金で、供託場所は長野地方法務局佐久支局・平成20年度金第224号及び平成21年度金第75号です。

損益計算書

平成21年度

〔平成21年 4月 1日から〕
〔平成22年 3月31日まで〕

(単位：千円)

科 目	金 額
経常収益	723,427
保険料等収入	718,225
保険料	434,870
再保険収入	283,355
回収再保険金	21,516
再保険手数料	185,929
再保険返戻金	17,879
その他再保険収入	58,031
支払備金戻入額	4,484
責任準備金戻入額	—
資産運用収益	188
利息及び配当金等収入	188
その他運用収益	—
その他経常収益	531
経常費用	731,474
保険金等支払金	364,195
保険金等	31,937
解約返戻金等	24,023
契約者配当金	—
再保険料	308,235
責任準備金等繰入額	6,677
支払備金繰入額	6,677
責任準備金繰入額	—
資産運用費用	—
事業費	360,602
営業費及び一般管理費	340,811
税金	9,706
減価償却費	10,085
退職給付引当金繰入額	—
その他経常費用	—
経常利益（又は経常損失）	△8,047
特別利益	—
特別損失	258
価格変動準備金繰入額	—
その他特別損失	258
契約者配当準備金繰入額	—
税引前当期純利益（又は税引前当期純損失）	△8,304
法人税及び住民税	902
法人税等調整額	0
法人税等合計	902
当期純利益（又は当期純損失）	△9,206

Ⅲ. 損益計算書に関する注記

1. 収益及び費用の計上基準

- ①収益の計上基準は、発生主義に基づく実現主義で計上しています。具体的には保険始期ベースで計上をしています。
- ②費用の計上基準は、発生主義で計上しています。

2. 会計方針の変更

- ①保険始期が到来していない収入保険料は仮受金に振替えています。保険始期が到来しない再保険料・代理店手数料は仮払金に計上しています。
- ②再保険返戻金収入は再保険料勘定より控除していましたが、再保険返戻金収入勘定で計上することに会計処理を変更しました。
- ③前期において「解約返戻金」は経常収益に表示していましたが、当期から経常費用に表示しています。
- ④前期において「販売手数料」としていたものを、当期から「印刷費」として表示しています。
- ⑤前期において「代理店手数料」及び「諸手数料集金費」は経常費用に表示していましたが、当期から営業費及び一般管理費に表示しています。
- ⑥前期において「営業用動産」としていたものを、当期から「その他の有形固定資産」として表示しています。

3. 収益及び費用に関する金額

- ①正味収入保険料は、178,522,852 円です。
- ②正味支払保険金は、10,421,589 円です。
- ③支払備金繰入額（△は支払備金戻入額）の内訳は次のとおりです。

支払備金繰入額（出再支払備金控除前）	△2,538,868 円
同上にかかる出再支払備金繰入額	△864,651 円
差引（イ）	△1,674,217 円
IBNR支払備金繰入額（出再IBNR支払備金控除前）	△9,364,368 円
同上にかかる出再IBNR支払備金繰入額	△6,555,058 円
差引（ロ）	△2,809,310 円
計（イ＋ロ）	△4,483,527 円

- ④責任準備金繰入額（△は責任準備金戻入額）の内訳は次のとおりです。

普通責任準備金繰入額（出再責任準備金控除前）	13,444,713 円
同上にかかる出再責任準備金繰入額	12,123,010 円
差引（イ）	1,321,703 円
異常危険準備金繰入額（ロ）	5,355,686 円
計（イ＋ロ）	6,677,389 円

- ⑤利息配当金収入は、主に八十二銀行の定期預金に係る預金利息です。

4. 1株当りの当期純損失は、63.06 円です。

Ⅳ. 株主資本等変動計算書に関する注記

当期事業年度の末日における発行済株式の数 14万6千株

Ⅴ. 重要な後発事象に関する注記

当該事項はありません。

VI. 関連当事者との取引に関する注記

関連当事者との取引は以下のとおりです。

1. 関連当事者の概要及び当社との関係

①名 称 あいおい損害保険株式会社

②議決権の所有割合 38.4%

2. 取引により発生した債権債務に係る主な科目別の期末残高

(単位：千円)

科 目	残 高
再保険料（費用）	308,235
回収再保険金（収益）	16,097
再保険手数料（収益）	185,935
再保険返戻金（収益）	17,830
再保険貸（債権）	8,378
再保険借（債務）	111,313
未収金[その他再保険収入]（債権）	58,031